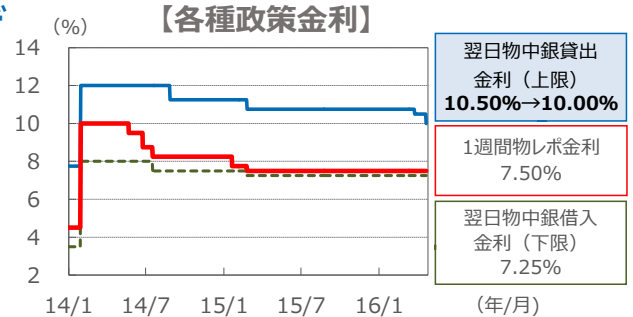


今日のトピック トルコの金融政策 (2016年4月)

金利誘導レンジの上限を引き下げ

**ポイント1 上限金利を0.50%引き下げ
主要な政策金利は据え置き**

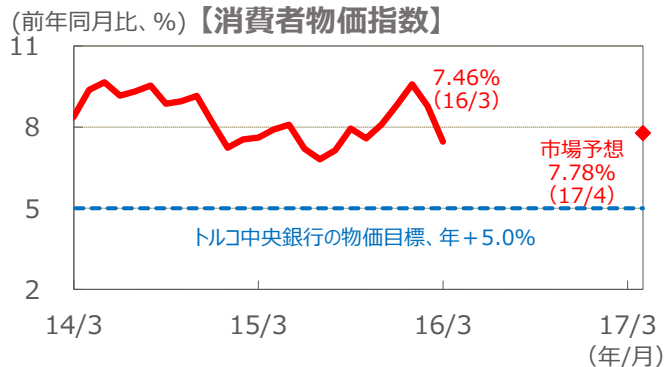
- トルコ中央銀行 (以下、中銀) は20日、金利誘導レンジ上限の翌日物中銀貸出金利を0.50%引き下げ、10.00%とすることを発表しました。足元で世界的に金融情勢が安定化しつつあり、中銀はこうした環境下、金利誘導レンジを広く維持する必要性が低下したと判断しました。
- 一方、主要な政策金利である1週間物レポ金利は7.50%に、金利誘導レンジの下限の翌日物中銀借入金利は7.25%に、それぞれ据え置きました。



(注) データは2014年1月1日～2016年4月20日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ポイント2 金融引き締め姿勢を継続
景気は安定的に拡大**

- 3月の消費者物価指数は前年同月比+7.46%で、2カ月連続で低下しましたが、中銀の物価目標を上回っています。低下の主因は食品価格の下落であり、それを除いたインフレの改善は限定的です。中銀は金融引き締め姿勢を続ける方針です。
- また、景気に対しては、地政学的リスクの高まりはあるものの、ユーロ圏からの需要が輸出を支え、銀行貸し出しも順調に伸びており、先行指標を含めた最近の経済指標は緩やかながらも安定した景気拡大を示唆しているとの見方が示されました。



(注) データは2014年3月～2016年3月。市場予想は、トルコ中央銀行が2016年4月15日に発表した調査結果。
(出所) トルコ中央銀行、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 リラは底堅い推移継続へ

- 中銀総裁は新任のチェインカヤ氏に変わりました。市場の一部に見られた金融緩和方向にスタンスを変えると懸念は一旦は払拭された模様です。安定的な経済成長、引き締め姿勢の金融政策を受け、リラは堅調な推移が続くと見られます。



(注) データは2014年3月1日～2016年4月20日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック! 2016年 3月 25日 トルコの金融政策 (2016年3月)
2016年 3月 11日 EUはトルコと欧州「難民」抑制で新合意 (欧州)**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。